

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	令和4年度 姫路市地域福祉計画推進懇話会
2 開催日時	令和4年9月29日（木曜日） 10時～11時40分
3 開催場所	姫路市役所本庁舎10階 大会議室
4 出席者又は欠席者名	出席者14名、事務局
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 なし
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none">1 姫路市地域福祉計画の概要について2 姫路市地域福祉計画の進捗状況について<ol style="list-style-type: none">(1) 姫路市社会福祉協議会地域福祉推進計画について(2) 重層的支援体制の整備について(3) 姫路市ヤングケアラー支援マニュアルの作成について(4) 姫路市再犯防止推進計画について
7 会議の全部内容又は進行記録	議事要点については別紙参照

事務局	開会（10：00）
事務局	挨拶
事務局	<p>委員及び事務局の確認 配布資料の確認</p> <p>当日新規配布資料 「会議次第」 「名簿」 「配席図」 「開催要領」 「資料3 重層的支援体制整備事業の実施概要」 「資料4 姫路市ヤングケアラー支援マニュアル【抜粋版】」</p>
事務局	<p>次第2 計画の概要について 資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 姫路市地域福祉計画【概要版】
事務局	<p>次第3 計画の進捗状況について</p> <p>地域福祉計画に基づいて行政が実施する各方策について報告したい。資料1の「地域福祉計画（令和3年3月策定）重点方策（取組状況）」に令和3年度の実績等を、資料2の「地域福祉計画（令和3年3月策定）重点方策（取組計画）」に、令和4年度の事業概要をまとめている。本日は時間の都合上、資料1及び資料2に掲載している項目に関する取組の中から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路市社会福祉協議会地域福祉推進計画について ・重層的支援体制整備事業の実施概要について ・姫路市ヤングケアラー支援マニュアルの作成について ・姫路市再犯防止推進計画について <p>の4つの取組に絞って所管課から御説明したい。</p>
事務局	<p>資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 姫路市社会福祉協議会地域福祉推進計画 ・資料3 重層的支援体制整備事業の実施概要 ・資料4 姫路市ヤングケアラー支援マニュアル【抜粋版】 ・資料5 姫路市再犯防止推進計画

B委員	<p>地域福祉計画の重点施策の中から、4つの取組について説明をいただいた。 現場で活躍されている方が参加されているので、現場の実情も含めて御意見、御質問いただければと思う。</p>
A委員	<p>説明を受けて、実際に地域福祉活動に携わっている立場としては、無償のボランティア活動だと認識しているが、中にはそれに納得していない方もおられる。それもあって地域の担い手が不足しているのではないかと思う。市職員を業務として派遣したり、ボランティア休暇を設けるなども考えてもらいたい。行政の側からボランティア活動に協力する姿勢があれば、地域の担い手も増えるかもしれない。行政は、地域の活動が上手く機能するように、地域の実情を考えて動いてもらいたい。</p> <p>社協支部の活動などは校区别に行っているが、自治会役員や民生委員は次々に変わる。会長などが変わられた際にはその活動について説明は行っているが、御理解いただけていないと感じることもある。地域のトップの考えによって地域の福祉に温度差が生じていると思う。また、自治会は多くの仕事を抱えているため、地域福祉やヤングケアラーなど、本当は大事な課題がどの程度地域の担い手に伝わっているのか疑問である。</p> <p>ヤングケアラーの子どもたちについて、自治会や民生委員などは把握しているかもしれないが、個人情報であり、守秘義務があると言ってボランティア活動をしているメンバーには教えてもらえない。手を差し伸べたくても対象が分からなくてはどうすることもできない。子育て広場はあるが、利用しているのは健全な親子であって、虐待などの問題を抱えている親子は足を踏み入れることができていないのではないかと思う。本当はそういう人たちを救い出す場であるべきであるが、できていないのが現実だと感じる。</p>
B委員	<p>多くの課題に対して、担い手をどうするのかという意見があった。 特に自治会圏域（小学校区）における多くの課題にどのように対応していくのか。</p>
事務局	<p>民生委員・児童委員の例を御紹介したいと思う。 各自治会や役員の方からなかなか担い手がいない、どのように引継いでいくのかという声を聞き、担い手不足が課題になっていると認識している。</p> <p>担い手不足という課題に対する支援策として、民生委員・児童委員に対し、活動の状況についてアンケートを取り、その結果を市のホームページに公開している。活動を紹介することで、少しでも地域の方々に御理解御協力いただけるような体制づくりに取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>ヤングケアラーについて、ヤングケアラーの家庭を特定するような取組よりも、多くの大人たちにヤングケアラーという問題があるということを知っていただき、陰でそっと寄り添えるような体制づくりをしていきたいと考え、取り組んでいるところである。</p>

C委員	<p>災害時要援護者事業について質問したい。</p> <p>これは手上げ方式等で進めていると思うが、自治会から、個人情報関係で民生委員には名簿を見せられないと言われたことが過去にあった。私の担当地区では防災訓練を行っており、訓練の際に、事前に要援護者の確認をすることや、要援護者の支援に向かうことが示されていた。しかし、地域の他の民生委員に担当区域の要援護者を把握しているかと尋ねたところ、知らないと話していた。</p> <p>先日の台風接近の際には担当地区の小中学校で避難所が開設され、市職員が来ていたようだが、民生委員には声がかからなかった。熊本の事例では、行政が来るまでに自主的に役割分担をして活動されたと聞いた。要援護者支援と聞くと熊本の事例の印象が強い。災害時要援護者地域支援協議会の実態が見えないし、連合自治会との関係も分かりにくい。</p>
事務局	<p>災害時要援護者支援事業は、障害をお持ちの方など一人で避難することが難しい方の名簿を地域へ提供したり、救急医療情報キットを配布して避難支援に活用してもらうものである。協議会の活動と避難所運営は異なるものであり、協議会が直接避難所運営をするものではない。</p> <p>災害時要援護者地域支援協議会については、連合自治会単位で組織していただいている。自治会役員、消防団、民生委員の方などが協議会の構成員となっていることが多く、要援護者名簿は協議会の構成員であれば、共有していただけるものになっている。情報共有ができなかった点については、市の説明不足もあり、自治会内で名簿の取り扱いについて共有できていなかったのだと思う。</p>
B委員	<p>温暖化の影響か、台風も非常に猛烈になってきつつあり、何十年に1回といった災害も耳にする。そういう状況の中で、緊急に対応を必要とする案件が増えている。地域と連携しながら体制を整備していってほしい。</p>
D委員	<p>災害時要援護者支援事業について、校区によって違いがあると思うが、私の校区では自主防災会があり、防災訓練、災害時の要援護者の避難支援等の協力を求めている。災害時要援護者地域支援協議会は自主防災会と大体同様の組織だと思う。双方で要援護者の情報を共有している。要援護者に対する組織づくりは、各自治会単位で、手上げ方式や市から提供される名簿情報を活用して要援護者をピックアップして行っている。支援が必要な方に対して、誰がいざという時に支援をするのかという体制づくりは、単位自治会の自主防災組織の中で行っていると思う。</p> <p>担い手の話が出たが、自治会、婦人会、老人会など、地域に関わっている人のほとんどがボランティアである。無縁社会とも言われているが、老人会、子ども会の縮小などそれぞれの組織そのものが弱体化している。その中で自治会はずべての団体を把握して協力体制を築いている。これからの課題として、地域の中の組織を確立していく努力が必要だと感じている。また、ヤングケアラー、その他様々な困り</p>

事務局	<p>ごとなど、自治会の各組織間で情報共有していく方法を確立していくことも地域の大きな課題と思う。できるだけ努力していきたい。</p> <p>人口減少社会に入ってきたということで、担い手の問題がある。</p> <p>自助、共助ということで、地域の方のお力を借りて、地域一体となつての支え合いが必要になってきているという大きな見通しの中で、市としては国の法律で推進されていることを地域の取組につなげていかなければならない。市のあらゆる分野で地域に御負担をおかけしていることを認識しながら施策を進めていかなければならない立場であるが、いろいろな御意見をいただきながら、できるだけのことをやっていたいと考えている。</p> <p>理想としては、お互いが相互に助け合いながら暮らしていこうという認識を住民の方に持っていただくことが一番大事だと思っている。制度を知らなかったとの御意見もあり、「知らない」をなるべく減らせるように取り組んでいくことが大事だと考えている。御協力をお願いしたい。</p>
B委員	<p>新しい地域福祉計画実施から1年が経過した。計画の中には十分な取組ができていない分野もある。本日委員のみなさまからいただいた意見については、今後の取組の参考にさせていただけたらと思う。</p> <p>閉会（11：40）</p>